



学校だより

—しなやかで、たくましい

心とからだを育てる船二小—

令和6年10月31日(木) No.7

江戸川区立船堀第二小学校 校長 則岡 小織

芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋

～小さな実りが次々と～

校長 則岡 小織



校庭の木々もやっと秋を感じさせてくれるようになりました。秋桜の花も心地よい風に揺らいで子供たちを見えています。4月より先生方が信念をもって指導してきたことが、子供たちの様々な姿に実りとして見られるようになりました。

体育大会では、6年生の素晴らしい姿に心から感動することができました。それは、記録や順位ではなく、友達を応援する姿や最後まで力を抜かないまさに全力で競技と向かい合う姿です。さらに、子供たちの振り返りには、「スポーツの楽しさ」「悔しかったり、楽しんだりする楽しさ」「できるようになる嬉しさ」「できないをできるようにしていく楽しさ」などがありました。スポーツの実りはこれなのだと思います。

最近、特に気になる子供の姿勢に、「好きなことはやる。でもこれはやらない。」というものがあります。言うまでもなく、できないことや苦手なことを後回しにしたり、そこから逃げたりしてしまうことは自身の成長につながりません。それどころか、できないこと、わからないことが増えていき「楽しさ」を上回ってしまいます。様々なことにどう向き合っていくかご家庭でもこの機会に話題にしていただけたいと思います。体育大会を通して、過程の大切さを改めて学び成長した6年生の姿は誇らしかったです。この後の「日光移動教室」でのさらなる成長が楽しみです。

さて、今月は「持久走月間」であり、「展覧会」も開催されます。また、一般的には「読書の秋」でもあります。「持久走」は、タイムではなく、体力向上のために取り組みます。

文化庁の国語に関する世論調査から作成した資料を読むと、漫画や雑誌を除く本を1か月に1冊も「読まない」が急増して6割を超え、国語調査では「読書量が減った」が過去最多の7割となったことが分かりました。これは、スマホやタブレット等の情報機器に費やす時間の増加の影響とも考えられます。ネットやSNSの文章は、短く簡単に読めてしまいますが、やはり、思考力を身に付ける上で、本を読むことは重要です。本校では、司書さんの力を借りて子供たちに読んでほしい本『船二100選』を作りました。貸与されているiPadに入っているのでお子さんと一緒にご覧になってください。きっと、懐かしい本が見つかることと思います。本で身に付ける思考力には、筆者や作者の思い、読んで心に残った自分の思い、お気に入りの本との出会い、本の世界に浸って主人公になったように感動したり、冒険したりして心がわくわく、ドキドキすること、結果、心を豊かにする力があります。知識・情報とともに心も大きく深くなると素敵です。

15日(金)16日(土)は展覧会を開催します。思いを込めた作品で廊下や多目的ホールがいっぱいです。学芸的学校行事はいくつかありますが、展覧会がその子らしさが一番表われる行事だと思います。同じテーマ、同じ材料、同じ時間、同じ指導の下、自分が表現したいように作品を作ることができるからです。そこには正解も優劣もありません。子供たち一人一人の思い、感性があるだけです。どんなことを思って作ったのかなと心の中で描きながらご鑑賞ください。

【江戸川区からのお願い】

区のこれからのサービスや負担の在り方について考えるアンケートを実施しています。10月下旬に広報えどがわ特別号を全戸配布しておりますので、ご確認いただき、江戸川区の将来に向けてぜひご回答ください。

